

☆世界

繊維貿易

世界の繊維貿易は17%増---2011年

日本貿易振興機構（ジェトロ）の2012年版世界貿易投資報告によると、2011年の世界の繊維品貿易（輸出ベース）は、前年比17.2%増の7,476億ドルとなった。主要国地域別にみると、米国、中国は前年比2割を超える大幅増となった。

世界の繊維品貿易（100万ドル、%）

	2011年	前年比
世界計	747,636	17.2
米国	28,710	21.7
EU15	174,190	15.4
中国	240,614	20.6

（出所）ジェトロ

一方、2011年以降の四半期ベースでの世界の繊維貿易の前年同期比伸び率をみると、2011年第1四半期以降、伸び率は、23.8%増、24.3%増、17.8%増、5.9%増と鈍化しており、2012年第1四半期は前年同期比1.4%減と減少に転じている。

繊維品貿易の前年同期伸び率（%）

2011年				2012年
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
23.8	24.3	17.8	5.9	-1.4

☆中国

繊維景況

化繊業界、第3四半期の利益低下

2012年第3四半期に入り主要合繊ファイバー価格は上昇しているが合繊企業にとって厳しい利益環境が続いている。

一般的に、価格上昇には需要牽引型とコスト押し上げ型の2つのタイプがある。2012年に入り、末端の繊維需要、繊維品輸出の伸びが減速していることから、中国の現在の合繊ファイバーの上昇相場の多くは、コスト押し上げ型によるものである。

ポリエステル短繊維（1.4Dx38mm）を例にとると、2012年7～9月の3ヶ月に、市場価格は9,500元/トンから11,050元/トンに16.3%上昇した。しかし、原料コスト（PTAx0.865+MEGx0.335+加工費1,000元/トン）を考慮すると、7～9月のポリエステル短繊維は、ほとんどの時期において赤字であり、赤字幅が150元/トン水準に達する時もあった。

中国では、9～10月の伝統的な消費盛況期に入っているが、末端の織

維需要は未だ活発になっていない。一方で、原料価格の上昇は止まらないため、定番品の合繊、生地を中心に、合繊メーカー、生地メーカーは川中、川下へのコスト転嫁が難しい状況に置かれている。多くの企業は、この対応策として生産調整を検討しているが、生産調整の動きが進むと、原料の売上に影響が及び、産業チェーン全体が収縮し、企業の利益がさらに厳しい状況になるとの懸念もある。

☆ベトナム

合繊設備

PVTEX、11月に操業開始

ベトナム国営の石油・ガス会社 PetroVietnam は、Hai Phong 市の Dinh Vu 工業団地にある、総投資額 3.25 億^{ドル}、設備能力年産 17.5 万^{トン}のポリエステル繊維工場を今年 11 月に操業開始する予定である。同工場は、2011 年 7 月以降、試運転が行われてきた。

当初は、昨年 8 月から操業開始の予定だったが、試運転中に技術上の欠陥が発見されたため、始業は延期されていた。

操業開始後は、国内需要の 30-40% をまかなうと期待されており、年商 3 億^{ドル}を見込む。

PVTEX によると、試運転で生産されたポリエステル繊維は既に全て国内市場で消費されたという。

PVTEX 株の 81% を PetroVietnam が保有しており、14% を Vietnam National Textile and Garment Group (VINATEX) が、残る 5% を民間企業の Phongphu Textile が保有している。

☆ロシア

通商

繊維品に対する関税譲許細則を発表

このほどロシア政府は、WTO 加盟後の繊維製品に対する輸入関税の譲許細則（関税引き下げスケジュール）を発表した。鉱工業品全体では、関税率の上限となる譲許税率は現行の 10% から 7.8% へ引下げられる。

繊維品に対する関税率は、WTO 加盟日より、2017 年までに順次引き下げられ、最終引下げ年は、品目ごとに、2013 年～2017 年までの幅があるが、大部分は 2015 年までに引き下げられる。また、約 30 品目に対する関税は、現在の従価税と従量税の併用が、従価税または従量税に統一される。セクター別には、綿製アパレル製品の関税引き下げ幅が最大である。

以上